

## 【NITS・福井大学連合教職大学院・コラボ研修】

福井大学連合教職大学院東京サテライト

## DEAL（ディープ・アクティブラーニング）教員研修・ラウンドテーブル実施要項

「教職の理論と実践の融合」をテーマに教員研修の在り方を問い、子どもたちの学習観の転換を図る主体的な学びを支えるために、子どもの学びと相似形である教師の「主体的、対話的で深い学び」の教員研修を開催します。また、協働探究の実体験（フィールドワーク）を実施し地域、職種、学校種を超えて教師・参加者同士が探究し学び合う DEAL（アクティブ・ラーニング教員研修およびラウンドテーブルをおこないます。

なお、本教員研修は、健康課題・肢体不自由な特別な支援を必要とする生徒を中心とした特別支援学校の協力のもと、「総合的な学習の時間」における協働探究カリキュラム開発の一部を教員研修としたものです。

1. 日 程 令和6年10月19日（土）、20日（日）
2. 主 題 子ども×大人、フィールドワークをとおして「共創力」を高める協働探究  
DEAL 教員研修 - 教師の主体的、対話的で深い学びの実践と実現 -
3. 内 容 教員研修
4. 場 所 沖縄県宮古島市役所（会議室）、宮古島市内、他
5. 参加者 定員 約60名（全国の教員、行政関係者、大学関係者、一般企業、他）
6. 主 催 福井大学連合教職大学院東京サテライト  
責任者：福井大学連合教職開発研究科 特命教授 福島昌子  
NITS（独立行政法人教職員支援機構）福井大学連想教職大学院との共催開催
7. 後 援 宮古島市教育委員会
8. 参 画 海上保安庁第十一管区海上保安本部宮古島海上保安部  
スカイマーク株式会社
9. 協 力 埼玉県立越谷特別支援学校
10. 行 程

## 【Session I】

○10月19日（土）9：00～16：30

肢体不自由の特別な支援を必要とする埼玉県の中学生が総合的な学習の時間に考えた「バリアフリーを目指した宮古島を巡る探究コース」を参加者が小グループに分かれて巡ります。そして、子どもと大人が時空間を超えて協働探究のフィールドワークを実現することを目的におこないます。この考案された探究バリアフリーコースは海に触れたことがない肢体不自由な子どもたちが、宮古の海や島への想像の扉を開きながら探究思考を巡らせ、自分や自分の大切な人たちと宮古島を巡るにはどうしたらよいか、どこをどのようにバリアフリー化したら宮古島を回れるようになるのかを一生懸命に考えました。

Session I では、グループごとに子どもの思いと共にコースを回り、そのコースに新たな探究ポイントを一カ所加えて、子どもと大人が共創し「宮古島バリアフリー探究コース」を完成させます。そして、グループで研修レポートを作成し考案者の生徒に問い直しをします。

- 8：30 受付（仮）宮古島市役所 会議室
- 9：00 オリエンテーション
- 9：30 こどもが考えた「バリアフリーを目指した宮古島を巡る探究コース」のフィールドワーク（各班に分かれ出発） ※各班で昼食
- 16：00 宮古島市役所会議室に班ごとに集合し、研修報告レポートを作成する。
- 16：30 諸連絡 解散

## 【session II】

○10月20日（日）9：00～12：30（16：30）

生徒たちが考えた「バリアフリーを目指した宮古島を巡る探究コース」のフィールドワークの報告とともに、子どもの探究思考をたどり子どもや大人にとっての主体性、協働探究の意味を共有し、特別支援の子どもたちの主体的・対話的で深い学びの意味を考えます。そして、これまでの実践、教師としての成長のプロセスを振り返り、参加者の経験・学校種、地域の枠を超えて語り合いながら子どもたちの主体的な学びを支え、共に成長する教師・学校について考え、互いの実践を傾聴・語り合い・学び合うラウンドテーブルを実施します。

8：30 受付 宮古島市役所（会議室）

9：00 全体会

テーマ「子どもと大人が共に創造する協働探究の地平（仮）」

パネリスト① 福井大学連合教職大学院 准教授 宮本雄太 氏

パネリスト② 宮古島市城辺世代間交流複合施設

施設長 小祿朝也 氏

パネリスト③ 東京都渋谷区教育委員会

主任スクールソーシャルワーカー 平沢安正 氏

コーディネーター 福井大学連合教職大学院 特命教授 福島昌子 氏

10：00 休憩

10：10 ラウンドテーブル（10：10～12：20）

Session I の協働探究フィールドワークの共有

11：10 実践報告ラウンドテーブル

「相互的なリフレクションと展望」

12：20 諸連絡 終了

<子どもが考えた「探究コース」のフィールドワーク part 2 >

13：50 伊良部島長山港 集合（※事前申込者のみ）

協力：海上保安庁第十一管区海上保安本部宮古島海上保安部

14：00 日本、宮古島の海の保全についての講話

14：30 宮古島海上保安部の巡視船の見学

15：30 長山港 解散

### 11. 参加費（実費経費）

無料、但しフィールドワーク時の体験、拝観入館料、昼食は各自でご負担ください。

### 12. 申込期間

①10月7日（月）まで ※ 定員になり次第締め切ります。

②海上保安庁第十一管区海上保安本部宮古島海上保安部の「巡視船内の見学」および「海の安全講話」（10月20日午後）を希望される方は、早めにお申し込みください。定員に達した場合は締め切らせていただくことがあります。

但し、緊急業務により巡視船内の見学等ができない場合があることをご承知おきいただきお申し込みください。その場合は、別の活動も検討しています。

### 13. 10月19日に業務の関係上、参加できない方

業務の関係上、10/19（土）に参加できない方を対象に「事前コース巡り」を開催します。是非ご参加ください。

・日 程 令和6年10月12日（土） 9：00～16：30（受付 9：00～9：15）

・場 所 宮古島市役所（3階会議室）

・内 容 10月19日（土）フィールドワークと同様

## 14. その他

詳細については、福井大学連合教職大学院 HP に 9 月頃にアップされます。その他、お問い合わせについては、下記まで連絡をお願いします。

(問合せ先) 福井大学連合教職大学院東京サテライト 加藤悟・福島昌子

E-mail : deal.tokyo.2021@gmail.com

TEL : 080-2962-8102

(申し込み) <https://forms.gle/KVHqRQeMLXzbcYVK9>



(諸注意)

### 1. 持ち物

10/19 : 事前配付資料、帽子、虫よけ、日焼け止め、飲み物、他

10/20 : 帽子、日焼け止め、飲み物、水にぬれても良い服装、靴  
サングラスなど他は各自必要に応じて用意。

※雨でも決行のため、傘をご持参ください。

### 2. その他

- ・宮古島現地集合・解散。
- ・交通機関、宿泊施設等は各自でおとりください。
- ・離島の研修会のため保険に入っておくと良いかもしれません。



独立行政法人教職員支援機構

本教員研修は、独立行政法人教職員支援機構の 2024 年度「新たな教員研修事業」に採択され、福井大学連合教職大学院と NITS のコラボ研修になります。したがって、研修会報告書が 2025 年度の一年間にわたり NITS の HP に掲載されますことをご承知おきください。

### 【教職員支援機構とは】

独立行政法人教職員支援機構は、教職員に対する総合的支援を行う全国拠点として、国の教育政策上必要とする研修の効果的な実施や調査研究等を通じ、教職員の資質・能力の向上に寄与する組織です。英語表記である「National Institute for School Teachers and Staff Development」から「N、I、T、S」の頭文字を取って、「NITS (ニッツ)」を略称としています。

### 【NITS・教職大学院等コラボ研修プログラム支援事業とは】

教職員支援機構 (NITS) が、「学び続ける教員像」の具現化に資するため、各地域における現職教員の研修の高度化・体系化を実現するための支援をするものとし、各教職大学院等が実施する研修、セミナー、ワークショップ等の開催にあたり所定の補助を行う事業です。